2026年9月期　通期決算説明会

エンタープライズ領域におけるエコシステム拡大が2033年営業利益100億円達成をより確実に

2026年11月12日

第26回

GMOフィナンシャルゲート株式会社
(東証プライム市場　4051)

GMO FINANCIAL GATE

https://gmo-fg.com/

GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

当資料取扱上の注意

本資料に記載された内容は、2026年11月12日現在において、

一般的に認識されている経済/社会等の情勢並びに

当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、

経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります

GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

GMOインターネットにおける不正アクセス事案について

当社と同じ企業グループに属する、GMOインターネット株式会社（証券コード：4784）が
提供する「お名前.com デスクトップクラウド」への不正アクセス事案により、
ご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

- 当社のシステムへの影響について

  当社のシステムは、「お名前.com デスクトップクラウド」とは独立した環境で構築・運用しております。
  セキュリティ対策も当社が個別に設計・運用しております。
  本日時点において、本件に起因する当社サービスへの不正アクセス及び情報漏洩は確認されておりません。

- 当社業績への影響について

  本事案による当社サービス提供への直接的な影響はなく、通常どおりサービス提供を継続しております。
  営業活動等に及ぼす影響については、引き続き注視してまいります。

- 当社ガバナンスについて

  当社は上場会社として独立したガバナンス体制のもと、自社の判断と責任において事業を運営しております。

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

当社のセキュリティ確保の取り組みについて

第三者認証・国際基準への準拠

✓ PCI SSC*1

決済セキュリティ基準を策定・管理する団体

- PCI DSS に準拠

  カード情報を扱うシステム・運用のセキュリティ基準

- PCI PTS 認定の決済端末を提供

  決済端末の安全性を定める基準（PTS POI）

SP-011-1903

✓ プライバシーマークを取得

個人情報保護体制が JIS Q 15001 に適合する事業者の第三者認定

17002821(05)

✓ ISMS 認証を 2027年3月に取得予定

ISO/IEC 27001 に基づく情報セキュリティ管理体制の第三者認証

セキュリティ確保の取り組み

✓ 防御・監視

- 不正アクセス・情報漏えいへの対策
- アクセス制御・監視の実施

✓ 診断・投資

- 脆弱性テスト・ペネトレーションテストの実施
- セキュリティ強化のためのシステム投資

ガバナンス体制強化

✓ 緊急対策本部設置時の全社体制強化

- 迅速な意思決定・初動対応の訓練を定期化

✓ リスク管理委員会の高度化

- セキュリティに関するリスクモニタリング・評価の仕組み構築

*1) PCI SSC：国際カードブランド5社（Visa、Mastercard、JCB、American Express、Discover）が共同設立した、カード決済のセキュリティ基準を策定・管理する団体

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

目次

1. 2026年9月期 通期 総括
2. KPI推移・事業ハイライト
3. 2027年9月期(今期) 業績予想
4. 成長戦略と取り組み状況

補足情報

Appendix (財務情報、投資・株主還元方針)

GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

2026年9月期 通期 総括

1

GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

1.1 2026年9月期 総括

リカーリング型売上の拡大が利益成長を牽引
着実なID数拡大、ARPU向上により継続成長を実現

定量

2026年9月期 通期 P 8-12

- リカーリング型売上 : **111.9 億円(YoY +25.1%)**
- 総売上収益 : **225.9 億円(YoY +26.0%)**
- 営業利益 : **29.0 億円(YoY +30.4%)**

KPI P 14-15

- アクティブID数 : **51.1 万ID(YoY+7.2万ID)**
- 決済処理件数 : **14.2 億件(YoY+35.6%)**
- ARPU(4Q累計)*1 : **21,888円(YoY+1,496円)**
- GMV(参考) : **10.0 兆円(YoY+23.1%)**

定性

- セキュリティ確保の取り組み : 国際基準への準拠と第三者認証により安全性を確保 P 4
- 営業利益100億円のドライバー : 市場の拡大×シェア拡大により2033年営業利益100億円へ P 23
- 提供価値の深化 : 決済領域の知見・アセットを活用し、エンタープライズとの共創を実現 P 26-28

*1) 26/9期通期リカーリング型売上÷4Qアクティブ ID数

GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

1.2 業績サマリー

業績：売上収益・営業利益ともに修正後通期計画を上回る
KPI ：高稼働加盟店が牽引し、処理件数が大幅伸長

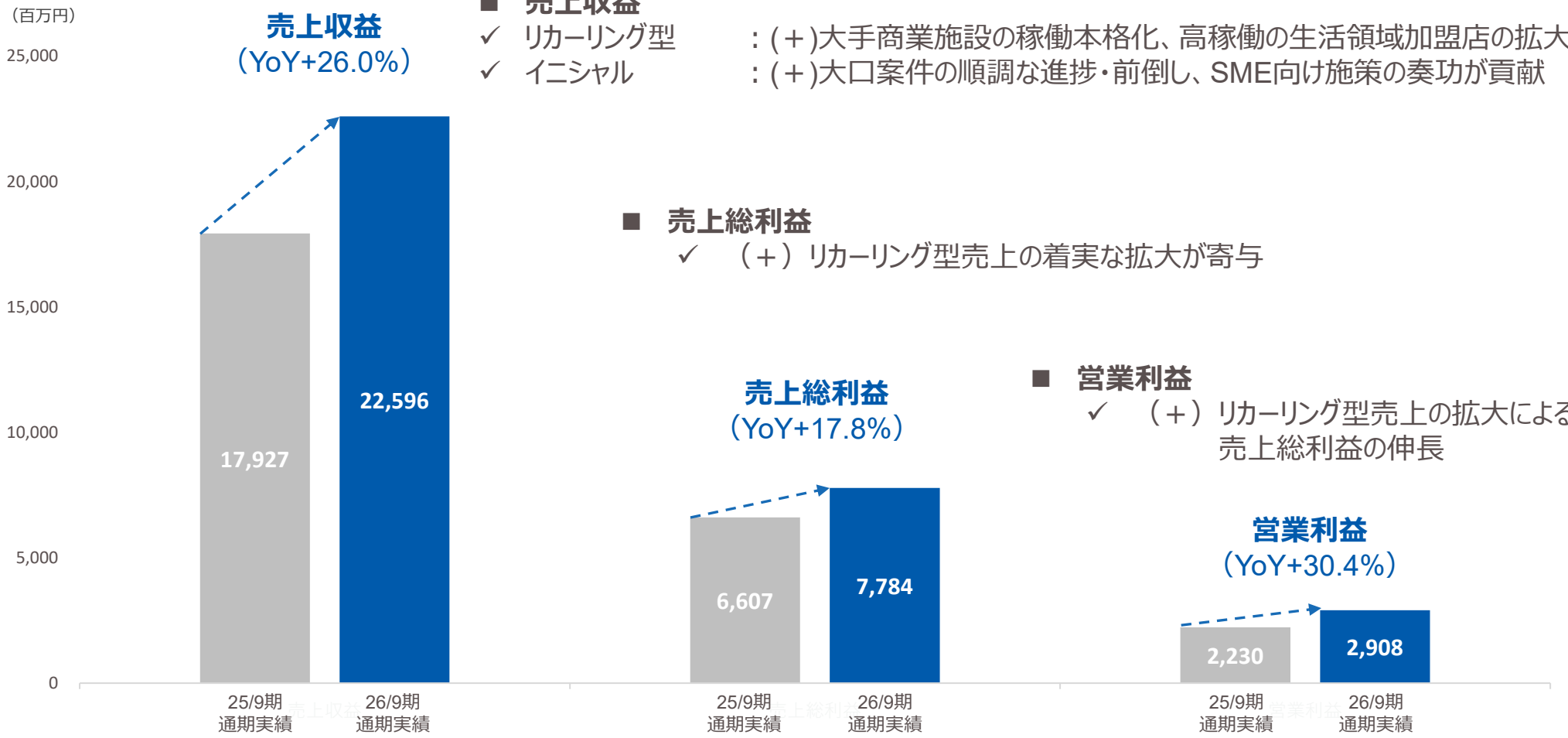
（百万円）	2025年9月期 通期実績	2026年9月期 通期実績	前年同期間比	2026年9月期 通期計画*1	2026年9月期 通期計画*対比
売上収益	17,927	22,596	+26.0%	22,000	102.7%
売上総利益	6,607	7,784	+17.8%	ー	ー
営業利益	2,230	2,908	+30.4%	2,900	100.3%
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,632	1,953	+19.7%	1,903	102.6%
1株あたり配当金	99円	131円	+32円	127円	+4円

KPI	アクティブID数	ARPU	決済処理件数	GMV(参考)
単4Q（YoY）	511,316 ID (+7.2万ID)	ー	約4億1,719万件 （+40.6%）	約2兆7,268億円 （+25.4%）
通期（YoY）	ー	21,888円 (+1,496円)	約14億2,924万件 （+35.6%）	約10兆976億円 （+23.1%）

*1) 2026/9/10公表の連結業績予想修正後の通期計画

1.3 業績の変動要因(YoY)

売上：リカーリング型は商業施設・生活領域が寄与。イニシャルは期初計画を大幅に超過
利益：リカーリング型の拡大に伴い着実に成長



■ **売上収益**
✓ リカーリング型　：(＋)大手商業施設の稼働本格化、高稼働の生活領域加盟店の拡大が寄与
✓ イニシャル　：(＋)大口案件の順調な進捗・前倒し、SME向け施策の奏功が貢献

■ **売上総利益**
✓ （＋）リカーリング型売上の着実な拡大が寄与

■ **営業利益**
✓ （＋）リカーリング型売上の拡大による売上総利益の伸長

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

1.4 品目別売上(YoY)

リカーリング型　：全品目がYoY+20%超の増収
イニシャル　　：大手ドラッグストア・商業施設案件・SMEが増収に寄与

（百万円）	2025年9月期 通期実績 (構成比%)	2026年9月期 通期累計 (構成比%)	前年同期間比
リカーリング型売上	**8,943 (49.9%)**	**11,191 (49.5%)**	**+25.1%**
ストック売上	2,107 (11.8%)	2,562 (11.3%)	+21.6%
フィー売上	5,261 (29.4%)	6,703 (29.7%)	+27.4%
スプレッド売上	1,574 (8.8%)	1,925 (8.5%)	+22.3%
イニシャル売上	**8,984 (50.1%)**	**11,404 (50.5%)**	**+26.9%**
売上収益合計	**17,927 (100.0%)**	**22,596 (100.0%)**	**+26.0%**

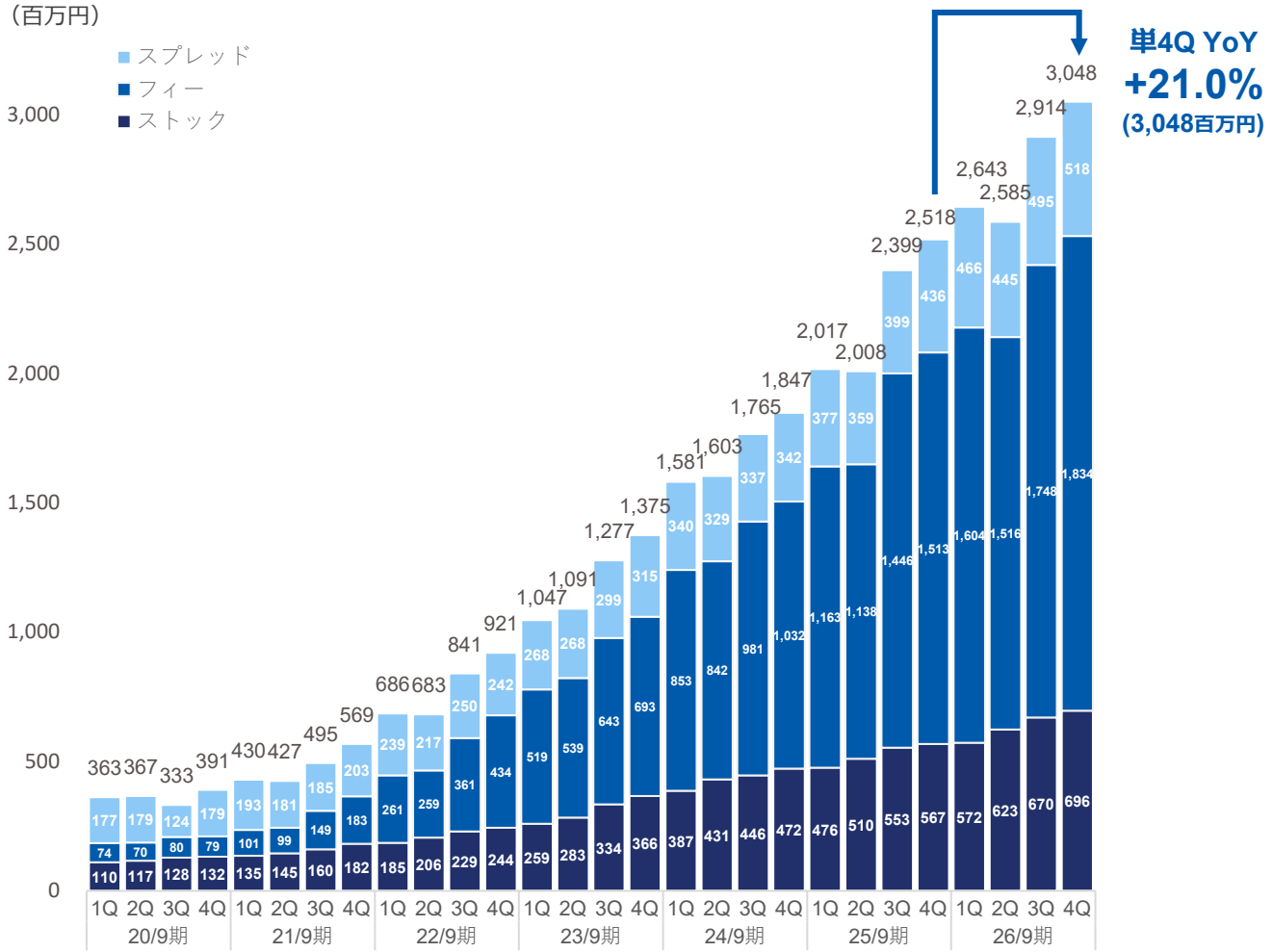
GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

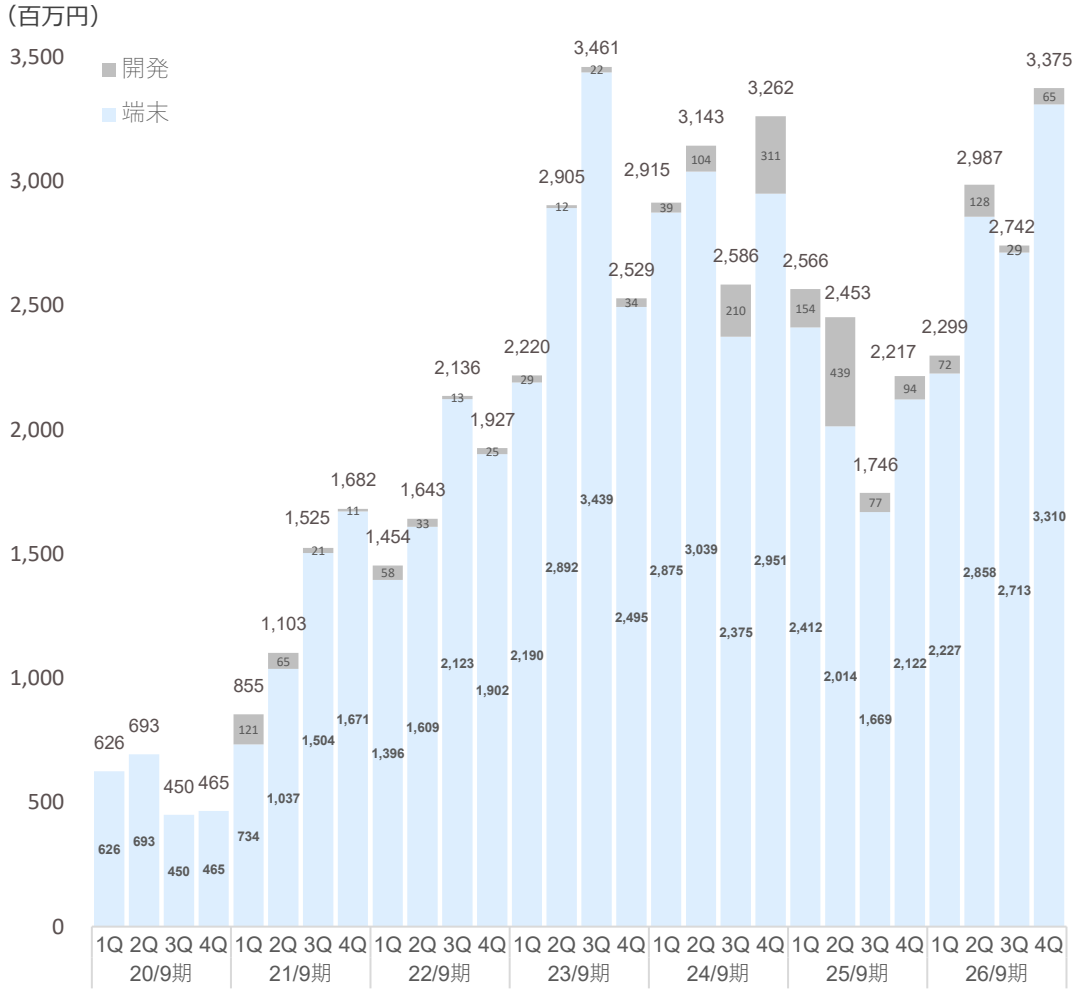
1.5 品目別売上(QoQ)

リカーリング型　：大口加盟店の本格稼働、既存加盟店の成長が売上拡大を牽引
イニシャル　　：大手商業施設向け端末の納入が増加したほか、SME領域も順調に推移

リカーリング型売上推移(QoQ)



イニシャル売上推移(QoQ)

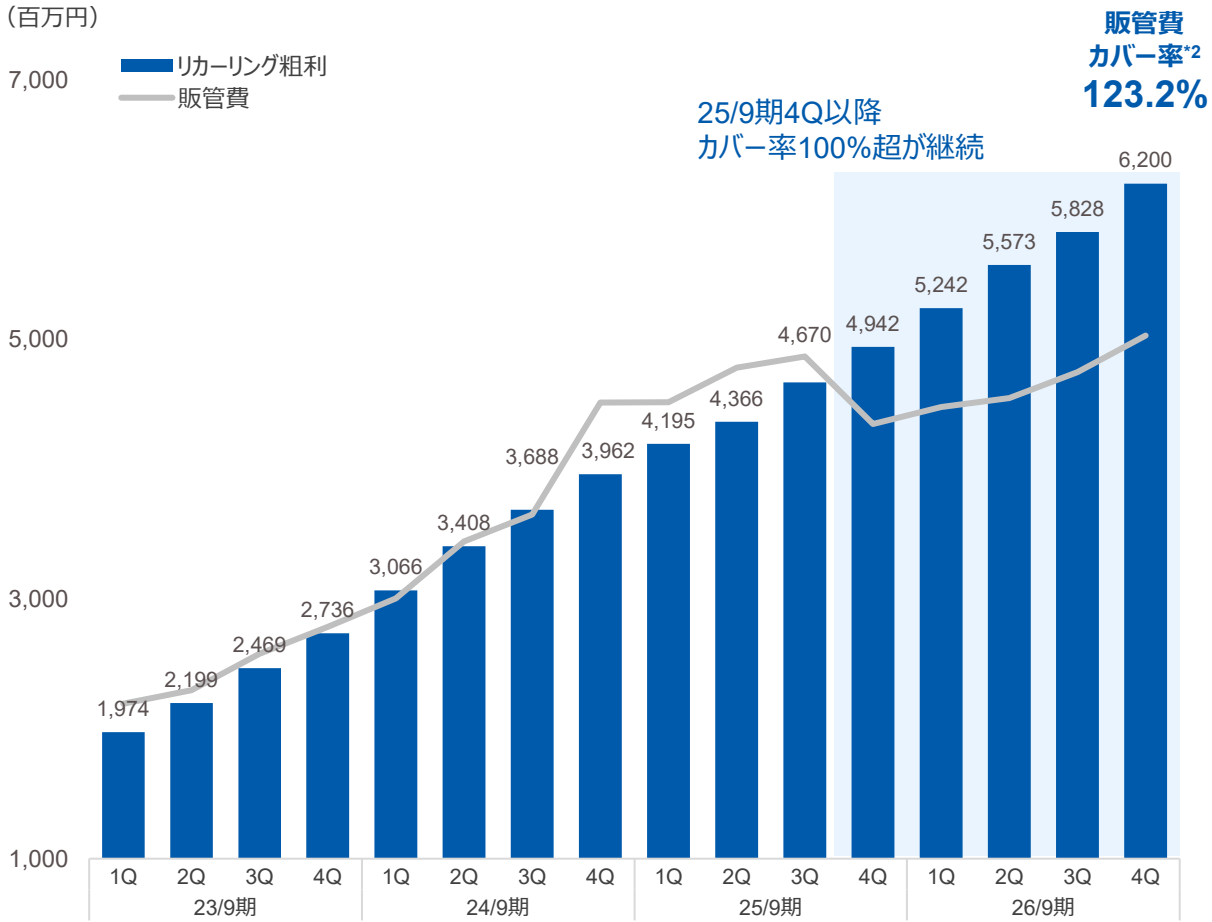


GMO FINANCIAL GATE
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

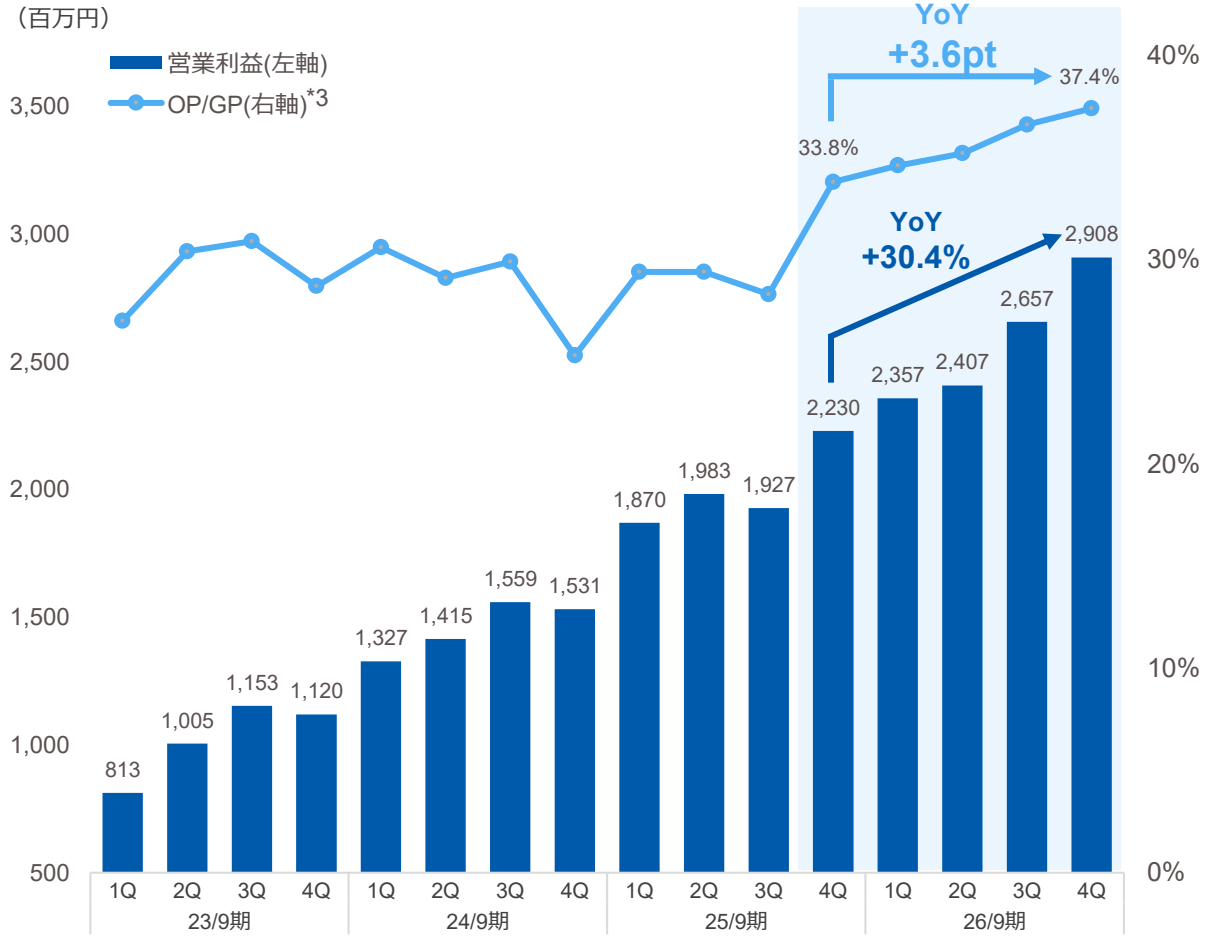
1.6 リカーリング粗利が支える利益成長

リカーリング粗利が拡大し、販管費を継続的にカバー
営業レバレッジ効果により、LTM営業利益はYoY+30.4%の高成長を維持

リカーリング粗利・販管費推移(LTM*1)



営業利益・OP/GPの推移(LTM*1)



*1) LTM :各四半期末を基準とした直近4四半期の数値。損益項目は当該期間の累計値を使用。23/9期はJGAAP、24/9期1Q-3QはJGAAPとIFRSを組み合わせて算出
*2) 販管費カバー率＝リカーリング粗利(LTM)÷販管費(LTM)
*3) OP/GP＝営業利益(LTM)÷売上総利益(LTM)

GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

KPI推移・事業ハイライト

2

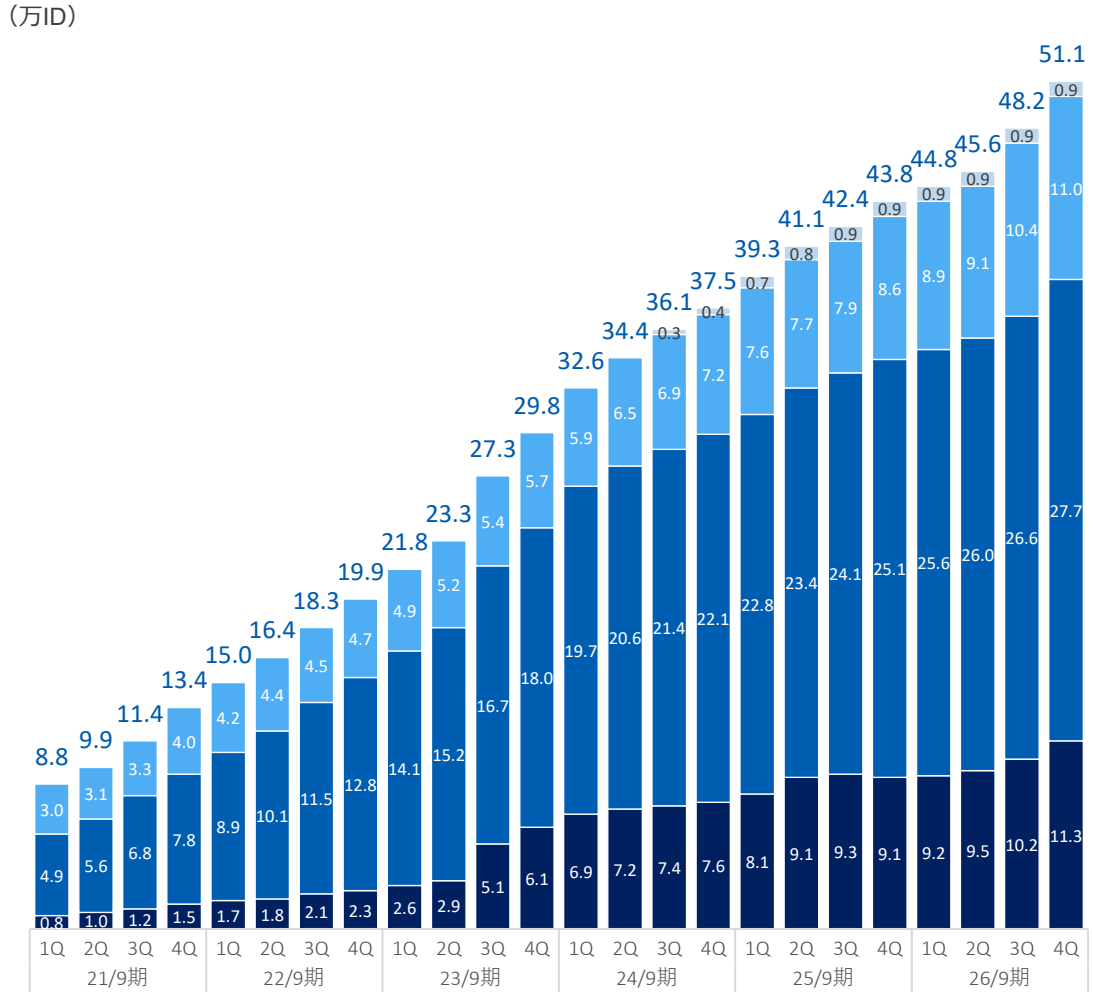
GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

2.1 連結KPI推移(アクティブID数)

全カテゴリにおいて着実に拡大

アクティブID数推移



2026年9月期 4Qに関する補足説明

端末レス

累計0.9万ID
YoY 0.0万ID
(+3.0%)

- SME・個人事業主を中心に提供継続
- 物流業者・イベント会場等、新たな利用シーンにおける普及が継続

無人・IoT

累計11.0万ID
YoY+2.4万ID
(+28.0%)

- **セルフレジ、コインパーキングへの導入が拡大**
- モビリティ領域における設置台数増が継続貢献

有人(SME)

累計27.7万ID
YoY+2.6万ID
(+10.6%)

- steraを軸に、調剤薬局や美容・医療分野への導入が拡大

有人(大口)

累計 11.3万ID
YoY+2.2万ID
(+23.7%)

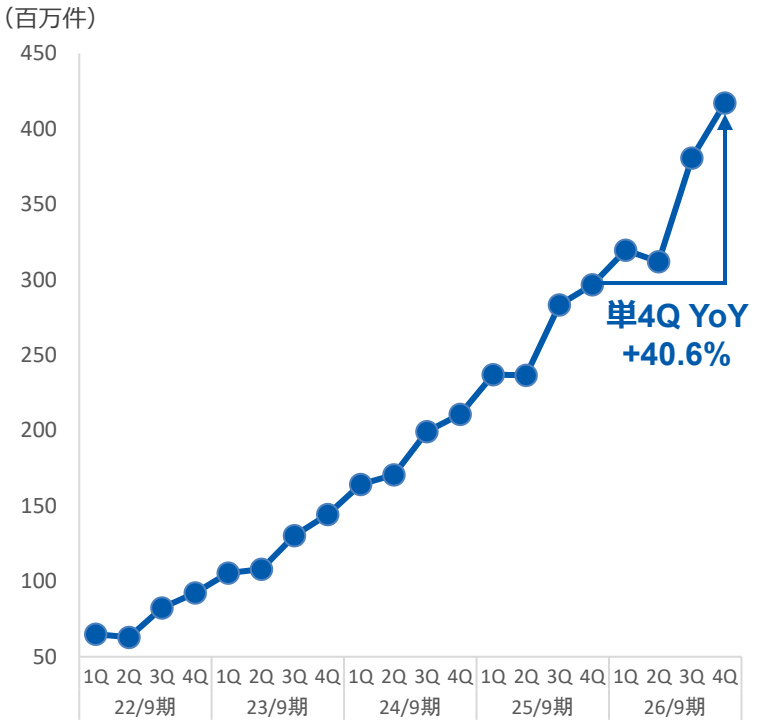
- **大手商業施設の稼働が順調に継続**
- 生活用品店を含む小売チェーンや外食チェーンへの導入が拡大

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

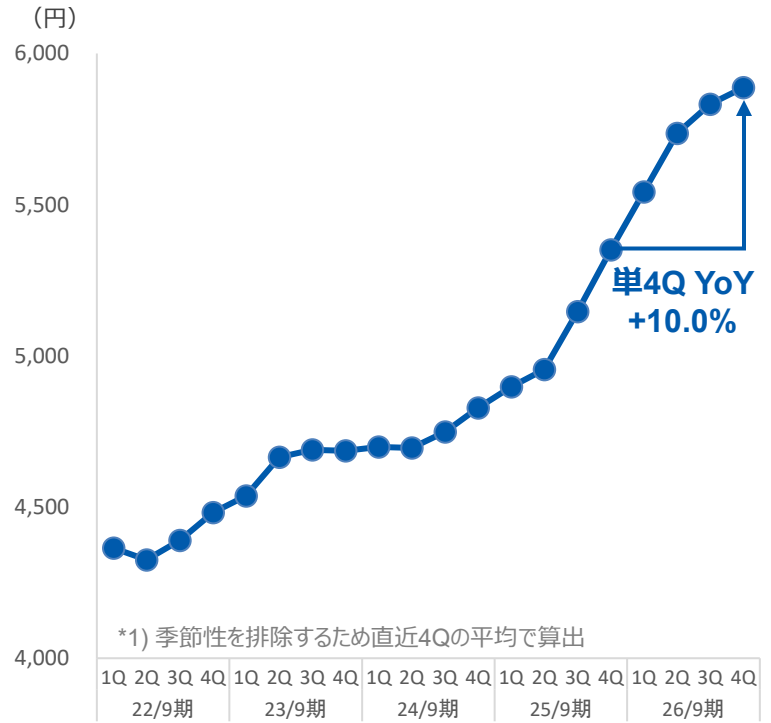
2.2 連結KPI推移(決済処理件数・ARPU・GMV/四半期毎)

処理件数　：大手商業施設の本格稼働が貢献
ARPU　　：高稼働IDが牽引

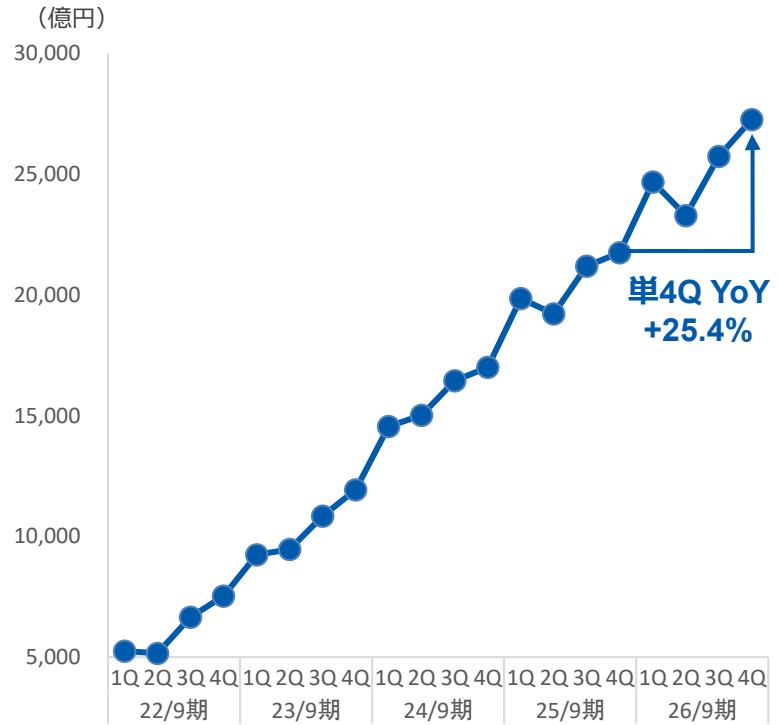
決済処理件数



ARPU*1



(参考)GMV



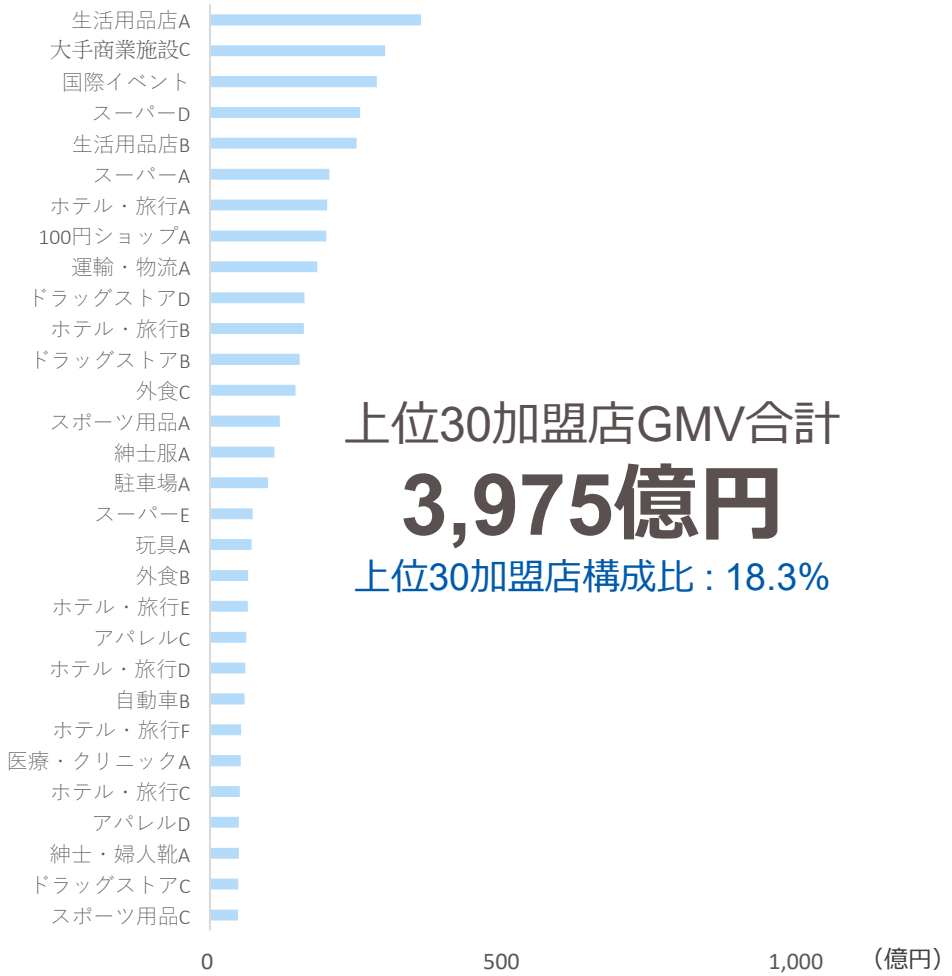
	2022年9月期				2023年9月期				2024年9月期				2025年9月期				2026年9月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
決済処理件数(万件)	6,497	6,292	8,237	9,224	10,553	10,804	13,026	14,438	16,431	17,057	19,935	21,066	23,710	23,661	28,322	29,672	31,951	31,185	38,067	41,719
ARPU*1(円)	4,420	4,448	4,586	4,767	4,751	4,813	4,765	4,686	4,698	4,695	4,747	4,827	4,897	4,954	5,147	5,351	5,542	5,736	5,832	5,887
(参考) GMV(億円)	5,251	5,161	6,658	7,530	9,242	9,459	10,842	11,930	14,552	15,023	16,451	17,000	19,852	19,223	21,196	21,750	24,678	23,289	25,741	27,268

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

2.3 単4Q 上位30加盟店 構成割合(GMV)

大手商業施設に加え、高稼働加盟店がGMV成長を牽引

2025年9月期 単4Q

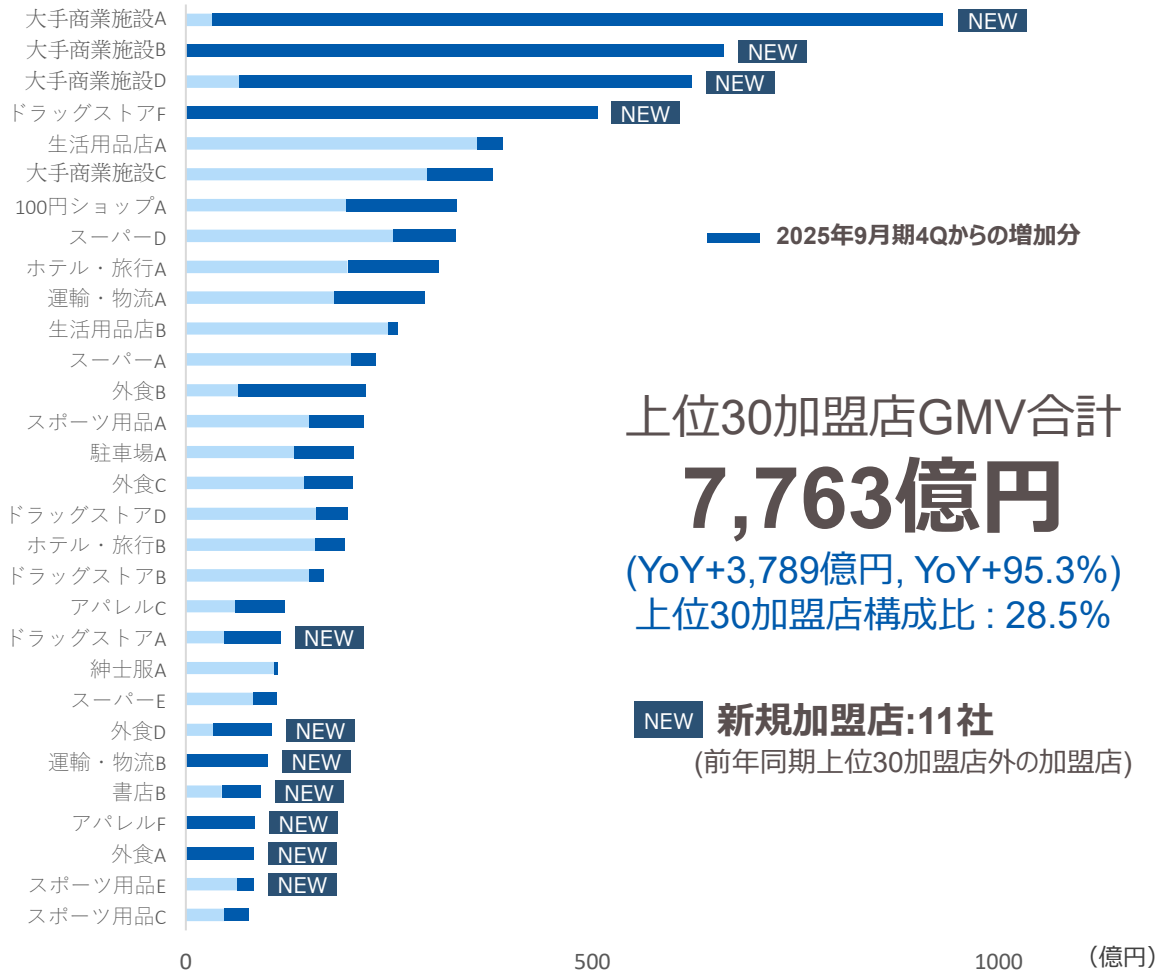


上位30加盟店GMV合計

3,975億円

上位30加盟店構成比 : 18.3%

2026年9月期 単4Q



上位30加盟店GMV合計

7,763億円

(YoY+3,789億円, YoY+95.3%)

上位30加盟店構成比 : 28.5%

NEW **新規加盟店:11社**

(前年同期上位30加盟店外の加盟店)

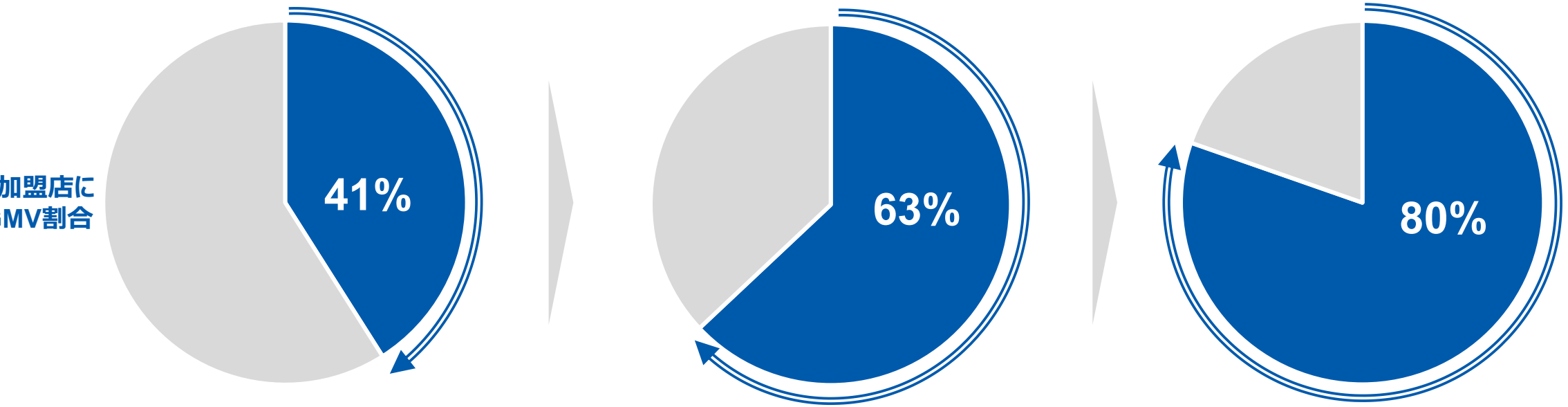
GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

2.4 生活領域加盟店ポートフォリオの拡大(上位30加盟店)

生活領域加盟店の獲得が進み、GMV上位30加盟店に占める比率が上昇

	2024年9月期 単4Q	2025年9月期 単4Q	2026年9月期 単4Q
上位30加盟店におけるGMV割合	41%	63%	80%
加盟店数	10社/30社	14社/30社	20社/30社



GMO FINANCIAL GATE
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

2027年9月期(今期) 業績予想

3

GMO FINANCIAL GATE

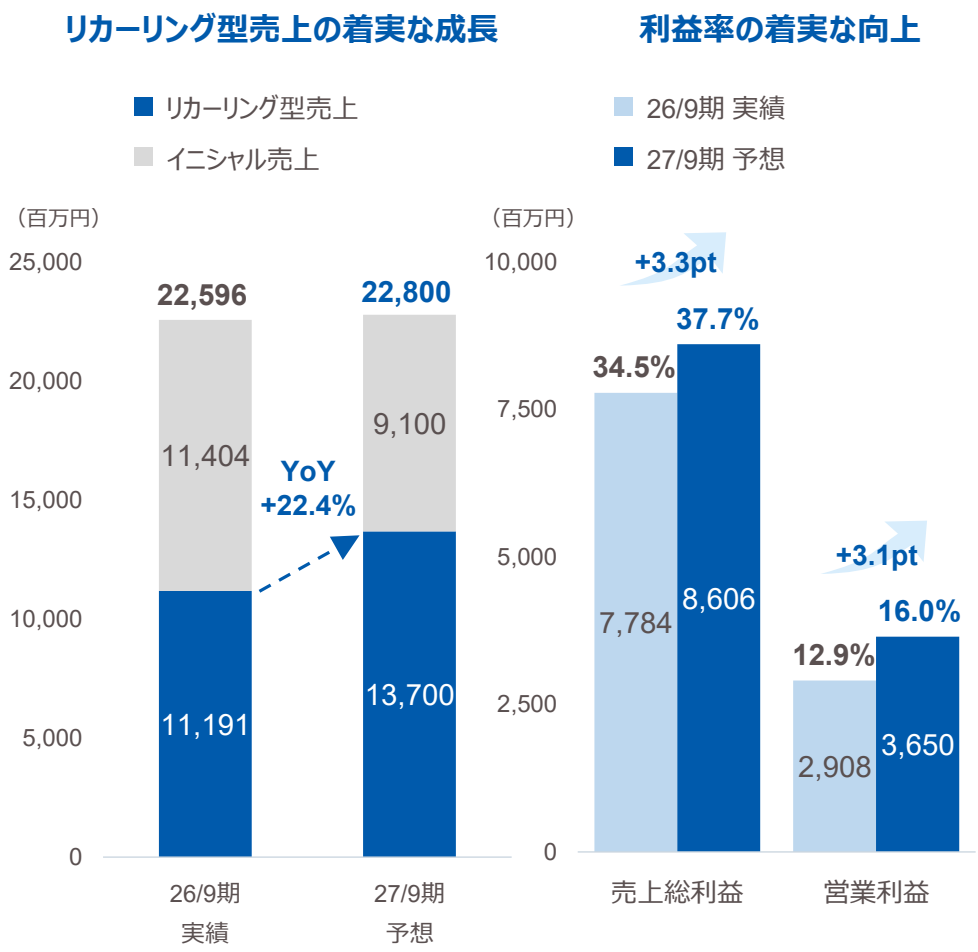
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

3.1 2027年9月期 業績予想

リカーリング型売上の成長継続に伴い、利益率の着実な向上を計画
セキュリティ対策関連費用は織込済

（百万円）	2026年9月期 実績	2027年9月期 業績予想			
項目	通期	上期	下期	通期	YoY
売上収益	22,596	10,752	12,047	**22,800**	+0.9%
売上総利益	7,784	3,971	4,634	**8,606**	+10.6%
売上総利益率	34.5%	36.9%	38.5%	**37.7%**	+3.3pt
営業利益	2,908	1,638	2,011	**3,650**	+25.5%
営業利益率	12.9%	15.2%	16.7%	**16.0%**	+3.1pt
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,953	1,066	1,302	**2,368**	+21.2%
一株あたり当期利益	236円	128円	157円	286円	-
一株あたり配当額	131円	-	-	158円	-

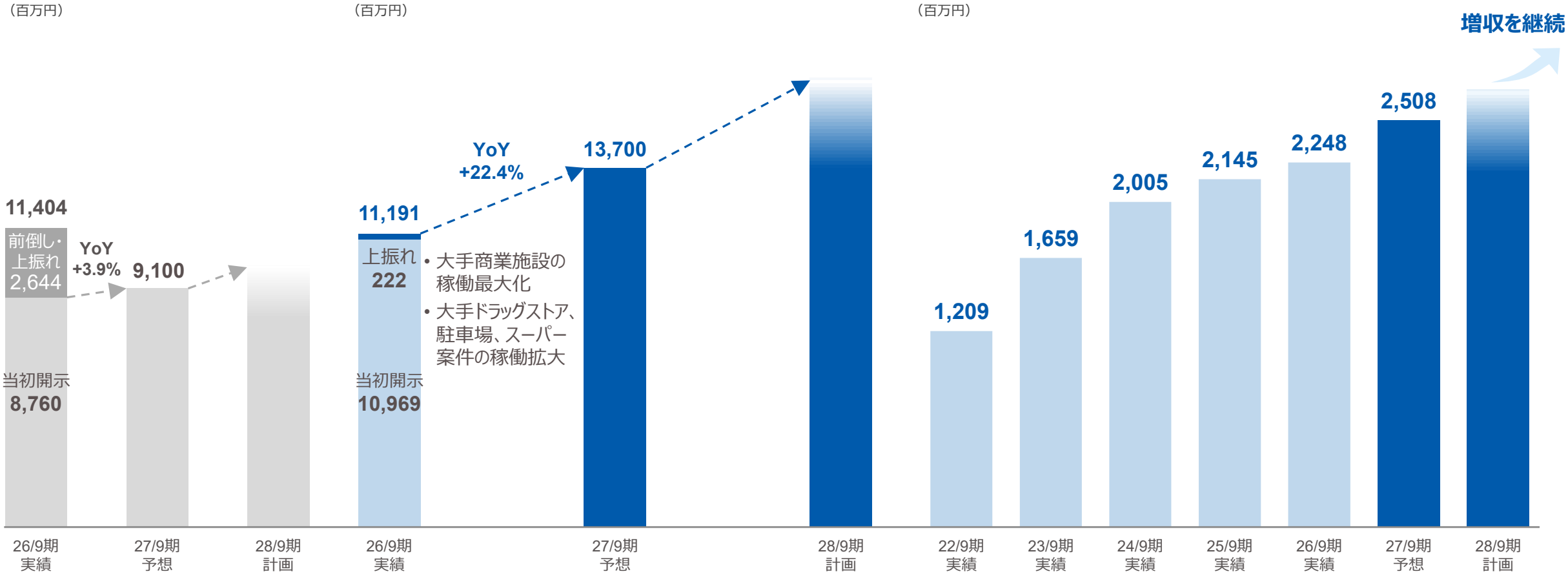
リカーリング型売上の成長と利益率の向上



Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

3.2 2027年9月期 業績予想 補足説明

リカーリング型　：商業施設などの稼働拡大が寄与し、約25億円の増収を計画
イニシャル　　：26/9期における複数の一過性要因が影響

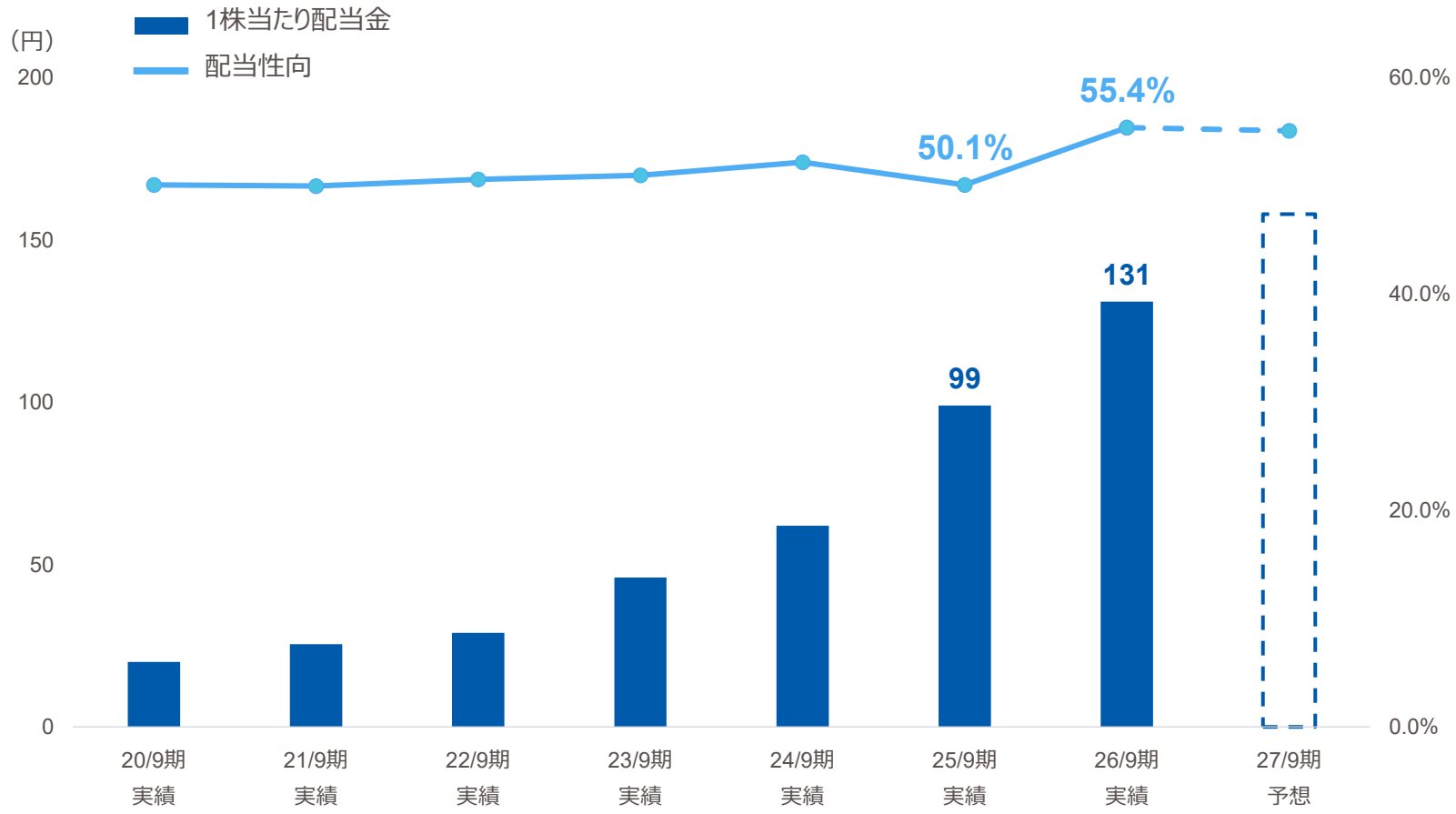


GMO FINANCIAL GATE
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

3.3 配当方針の変更

収益構造の変化を踏まえ、配当性向55%以上に加えDOE10%の下限を設定

1株当たり配当*1・配当性向の推移



*1) 1株当たり配当金は、2023年1月の株式分割後の株式数に換算
*2) DOE（調整後親会社所有者帰属持分配当率） = 配当総額 ÷ 調整後親会社所有者帰属持分（その他の資本の構成要素を除外）の期首・期末平均

配当方針

配当性向方針　：55%以上へ向上

DOE　：DOE*2 10%を導入

- 株主還元方針の明確化
- 安定性／予見可能性の向上
- 資本効率の重視

GMO FINANCIAL GATE
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

成長戦略と取り組み状況

4

GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

4.1 2033年営業利益100億円のドライバー

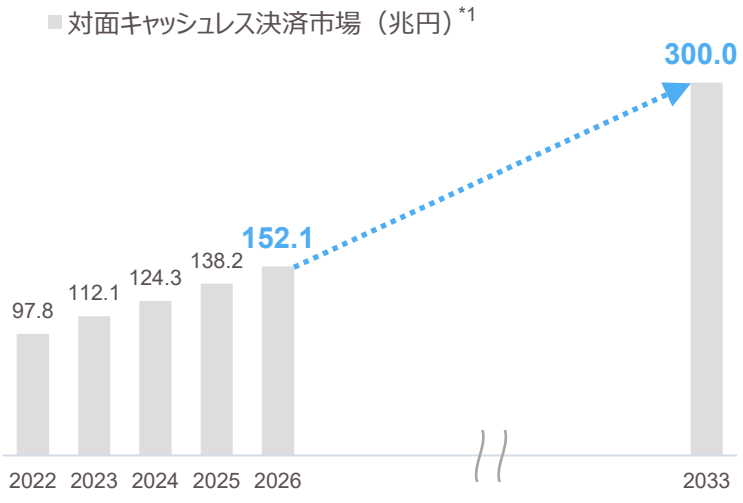
市場の拡大 x1.9~　シェアの拡大 x1.9

市場成長×シェア拡大で営業利益100億円+を実現

2033年9月期 営業利益 **100 億円~** ＝ 2026年9月期 営業利益実績 **29 億円** × 市場の拡大 **1.9~** × シェア拡大 **1.9**

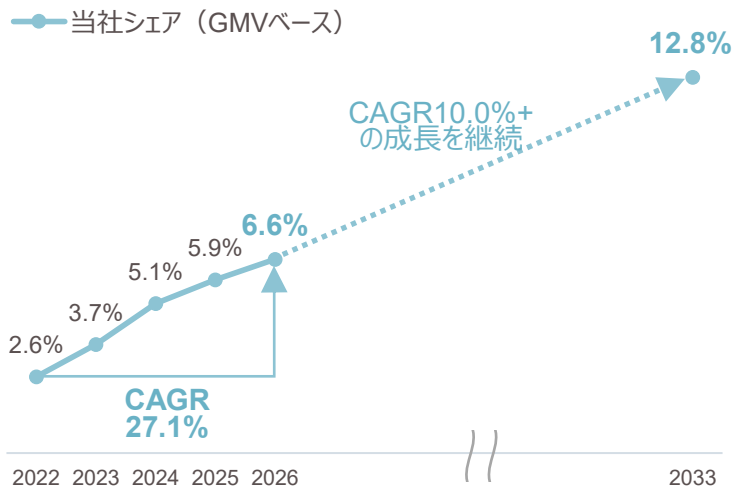
市場の拡大

300.0~ / 152.1 ＝ 約**1.9**倍~



シェア拡大

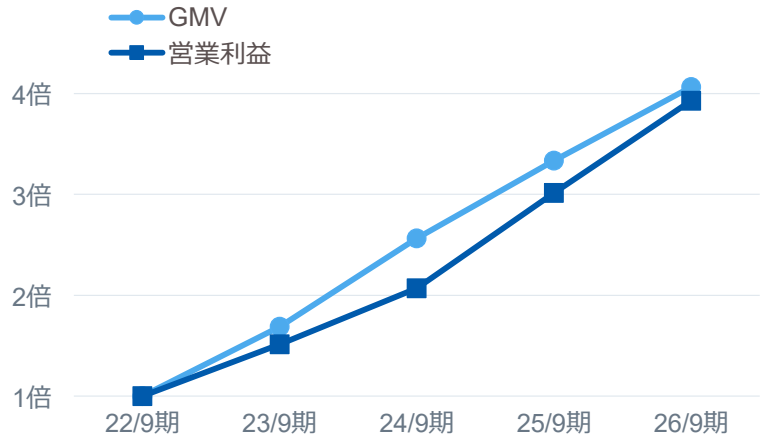
CAGR 10%^{7年} ＝ 約**1.9**倍



（参考）GMVと営業利益推移

GMV　：約**4.1**倍

営業利益　：約**3.9**倍



*1) 矢野経済研究所「2024年版 国内キャッシュレス決済市場の実態と将来予測」　矢野経済研究所「2024年版 オンライン決済サービスプロバイダーの現状と将来予測」 に基づき当社試算

GMO FINANCIAL GATE

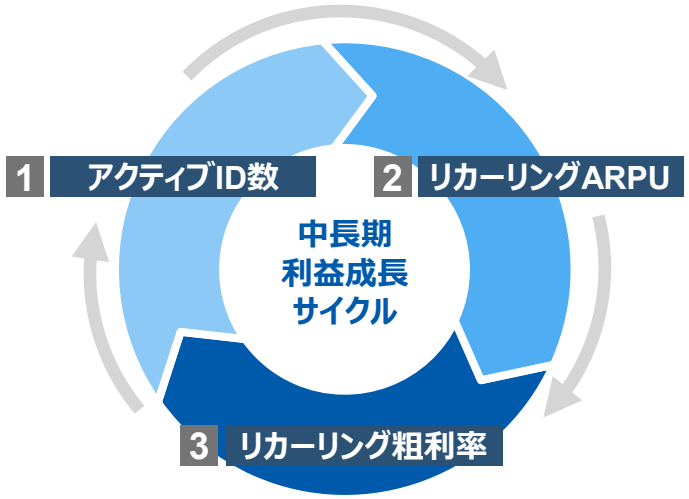
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

4.2 2033年9月期営業利益100億円のドライバー

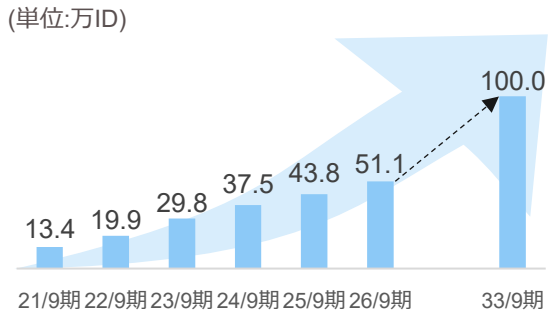
市場の拡大 x1.9~　シェアの拡大 x1.9

営業利益100億円を実現するための方程式

2033年9月期営業利益 **100億円~** ＝ リカーリング（アクティブID数 **100万ID** × ARPU **2.5万円** × リカーリング粗利率 **70%**） ＋ イニシャル粗利 － 販管費

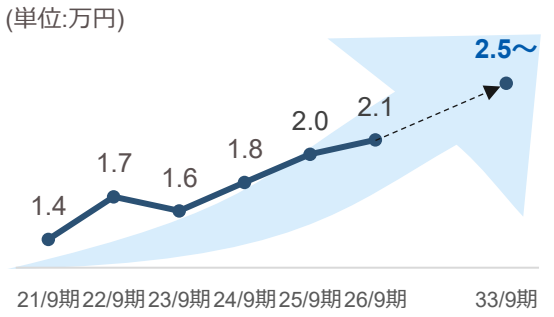


1 アクティブID数



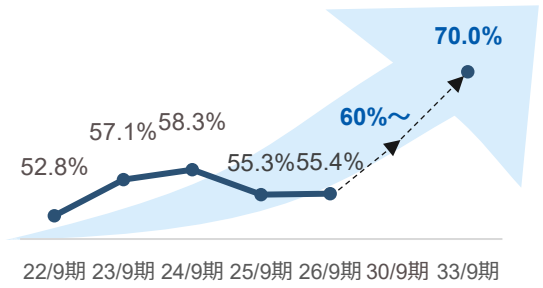
- 生活領域加盟店の獲得継続
- 業種・業態別に強みを持つアライアンスの拡充
- SME領域のベーストレンド底上げ

2 リカーリングARPU



- 生活領域加盟店の獲得継続
- エコシステムの拡大
  (決済業務DX、決済活性化)

3 リカーリング粗利率



- 共通アセットの開発継続
- AIの活用による開発の自動化・効率化推進
- ID当たりの採算性KPIの管理

GMO FINANCIAL GATE
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

4.3 対面キャッシュレス市場の成長ポテンシャル

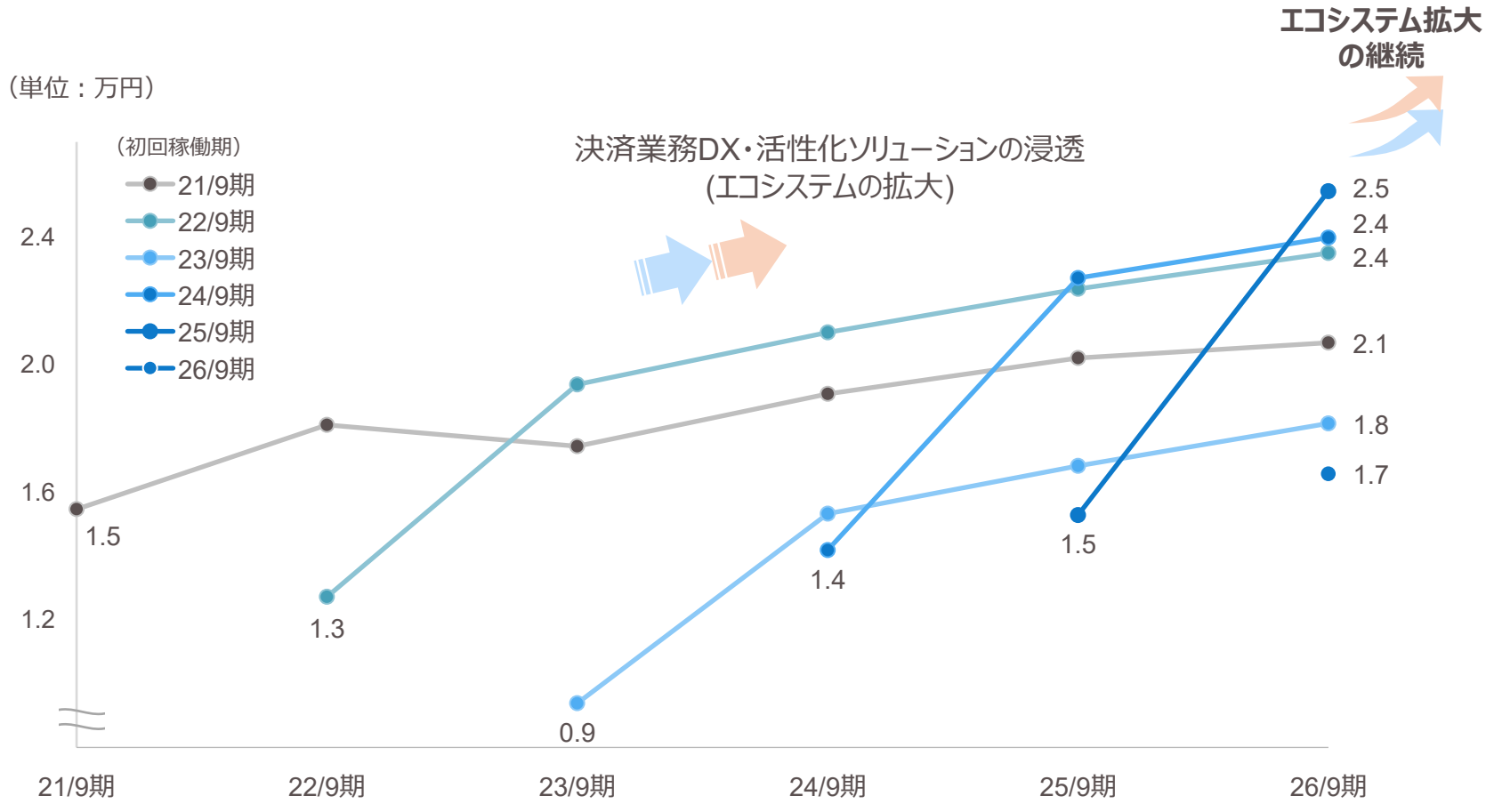
市場の拡大 x1.9~　シェアの拡大 x1.9

決済業務DX・活性化領域のTAMを獲得
提供価値を高め、ARPUの更なる向上へ

対面キャッシュレス決済市場（TAM）の拡大



生活領域加盟店のARPU推移



*1) 決済業務DX:株式会社富士キメラ総研「2025 デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望 市場編」、矢野経済研究所「デジタルマーケティング市場に関する調査（2024年）」を基に当社試算
*2) 矢野経済研究所「2024年版 国内キャッシュレス決済市場の実態と将来予測」　矢野経済研究所「2024年版 オンライン決済サービスプロバイダーの現状と将来予測」 に基づき当社試算

GMO FINANCIAL GATE

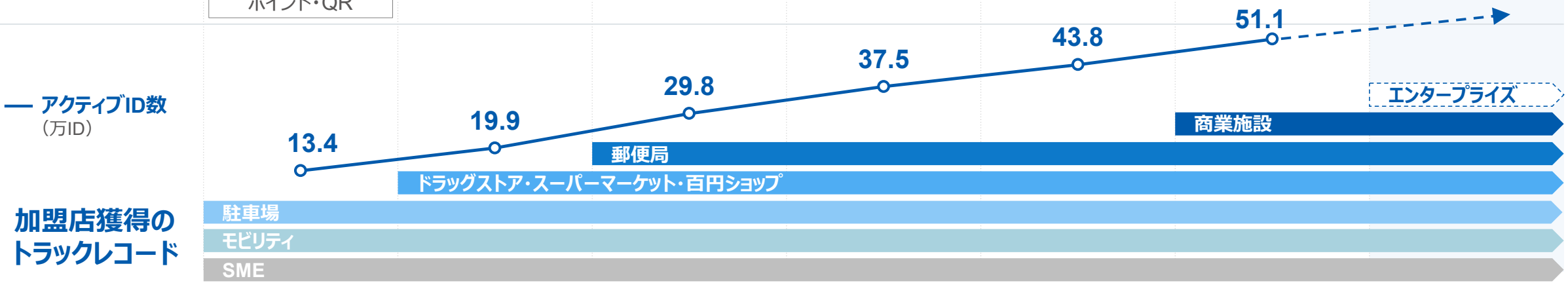
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

4.4 対面決済を起点としたエコシステムの拡大

市場の拡大 x1.9~　シェアの拡大 x1.9

エコシステムの拡大によりあらゆる業種・業態の加盟店ポートフォリオが拡大

サービス領域	～21/9期	22/9期	23/9期	24/9期	25/9期	26/9期	27/9期～ 開発中
決済活性化				売上データ還元	モバイルオーダー	デリバリー	加盟店AIO インバウンド送客
決済業務DX	ヘルプデスク 日報電子化 取引照会WEB	セルフレジ	売上集計 ヘルプデスク高度化	ポイント連携基盤	WEB端末申込 加盟店申込ポータル	飲食店オペレーション支援 売上ダッシュボード 研修アプリ	決済まるごと支援 請求・精算 加盟店管理 申込・審査
決済コア	タッチ決済 電子マネー モバイル通信環境 ポイント・QR			端末レス			



GMO FINANCIAL GATE
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

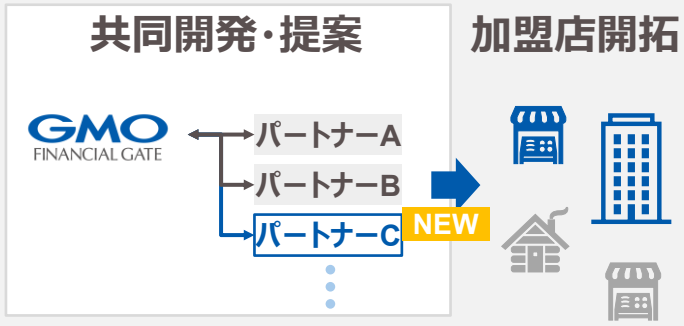
4.5 顧客基盤の拡大と提供価値の深化

市場の拡大 x1.9~　シェアの拡大 x1.9

既存領域拡大&提供価値の深化により、新たなサービス領域を着実に取り込み

既存領域の拡大

Ⅰ. アライアンス戦略の深化

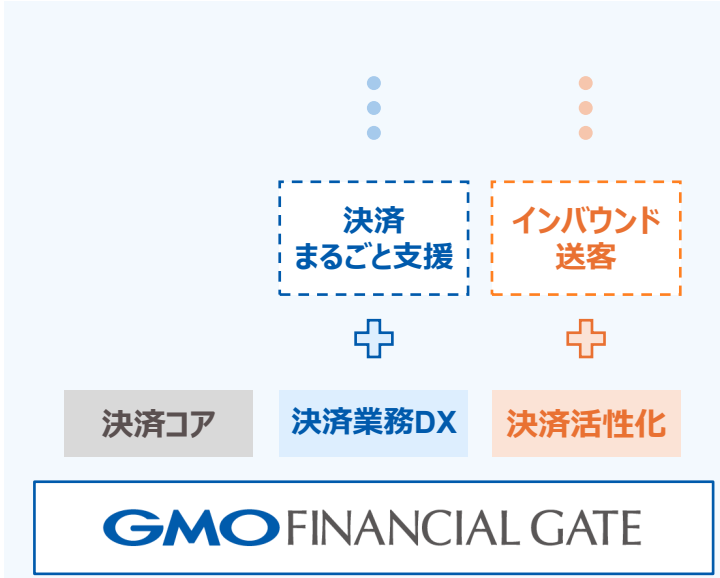


Ⅱ. 業種・業態別ソリューション拡充



提供価値の深化

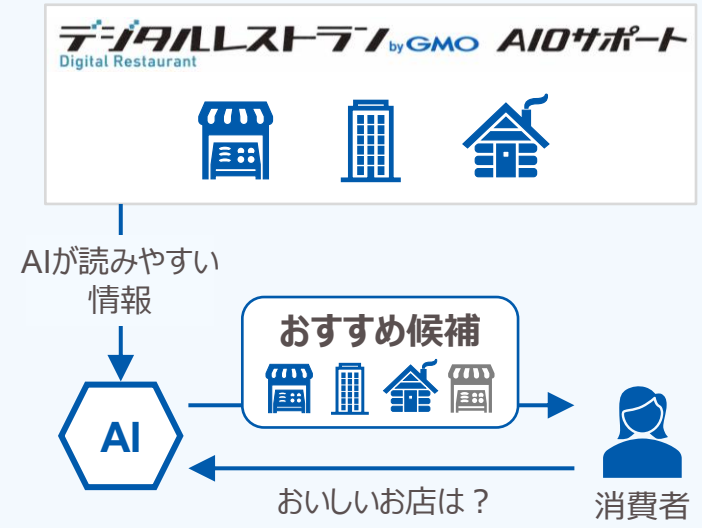
Ⅲ. エンタープライズの共創パートナー



- エンタープライズが運営する決済事業を総合的に支援
- 中核事業の集客・売上向上を支援

詳細は次頁 >

Ⅳ. 加盟店向けAIO支援*1（開発中）



- デジタルレストラン byGMOのサービスラインナップに、AIO支援を追加

*1) AIO(Artificial Intelligence Optimization)とは、生成AI・AI検索エンジンに自社のコンテンツを正しく認識・引用してもらうための最適化戦略

GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

4.6 エンタープライズにおける共創パートナー

市場の拡大 x1.9~　シェアの拡大 x1.9

共創パートナーとして、エンタープライズにおける事業推進・拡大を支援

決済コア　決済業務DX　決済活性化

業種・業態　導入・運用　決済・システム

共創支援パッケージ

- 業種・業態別ソリューション
- 導入PJの伴走支援
- マルチアクワイアリング
- システム・業務のシームレス化

開発中

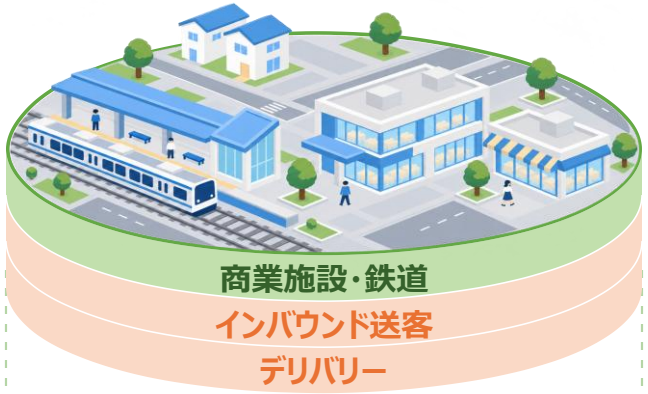
情報通信系エンタープライズA社





提案中

大手私鉄系エンタープライズB社





GMO FINANCIAL GATE
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

4.7 パイプラインの状況

市場の拡大 x1.9~　シェアの拡大 x1.9

生活領域を中心に、高稼働が見込める加盟店の案件パイプラインを拡充

● 獲得済み（リリース予定）　○ 提案中　□ ARR向上*1



*1) リカーリング型売上(Annual Recurring Revenue)

GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

Appendix

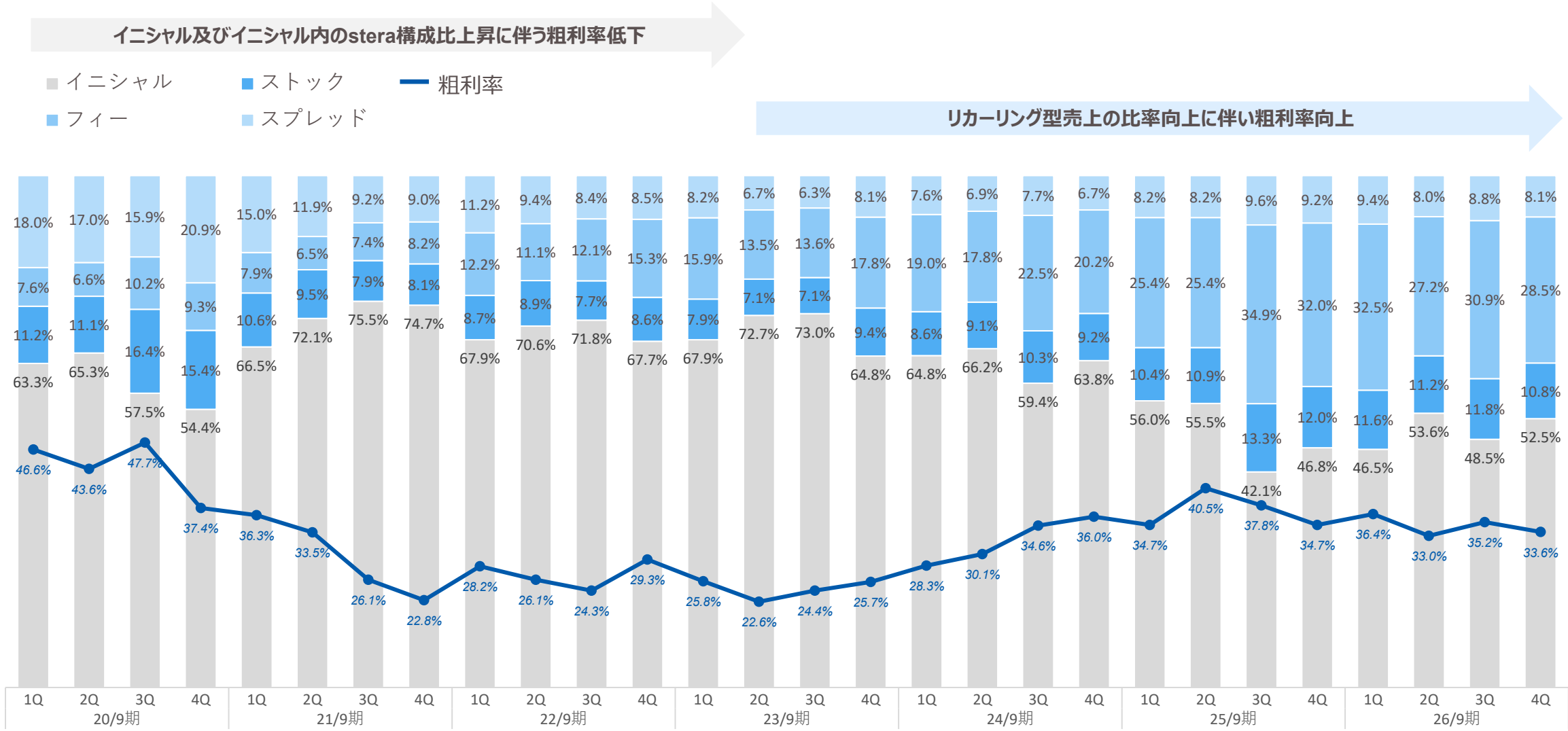
財務情報、投資・株主還元方針

GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

売上構成変化と粗利率推移

リカーリング型売上の拡大が売上総利益を下支え



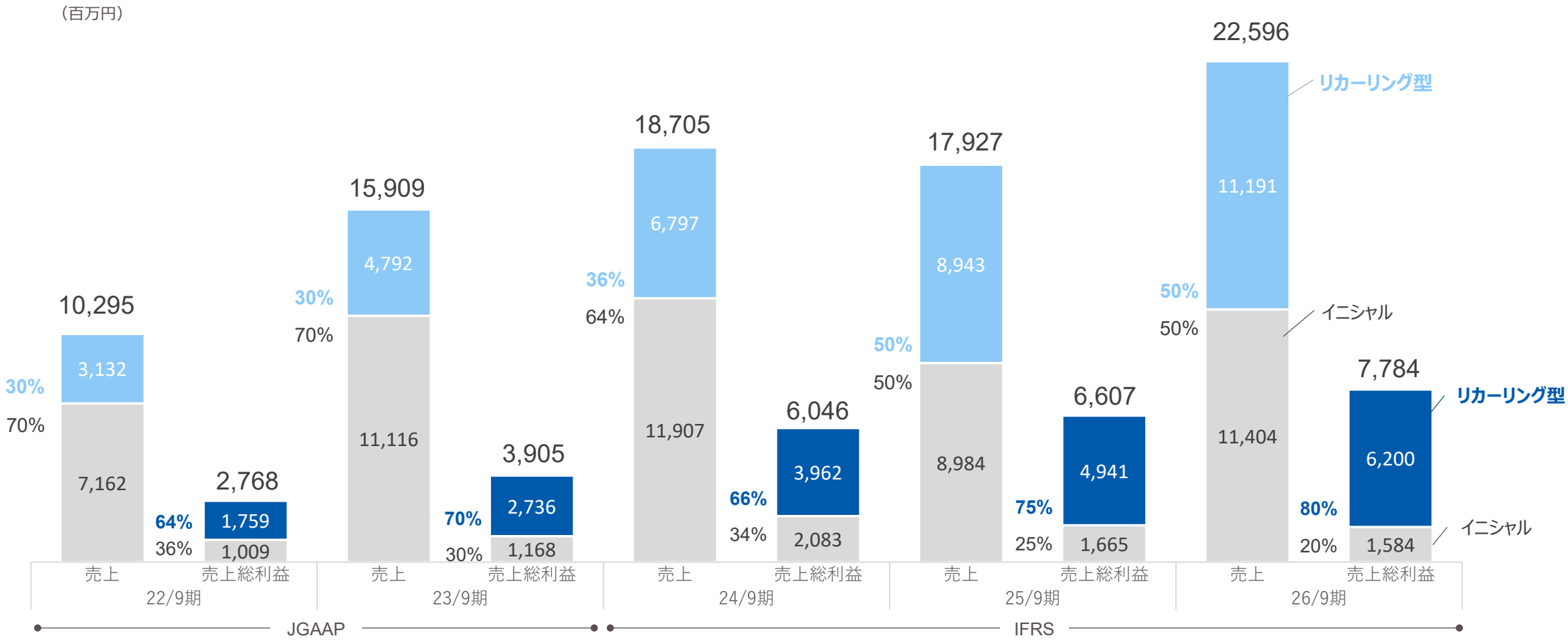
*1) 2024年9月期よりIFRS基準

GMO FINANCIAL GATE
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

売上総利益　構成比率

粗利率の高いリカーリング型売上の伸長により、安定した利益基盤を構築

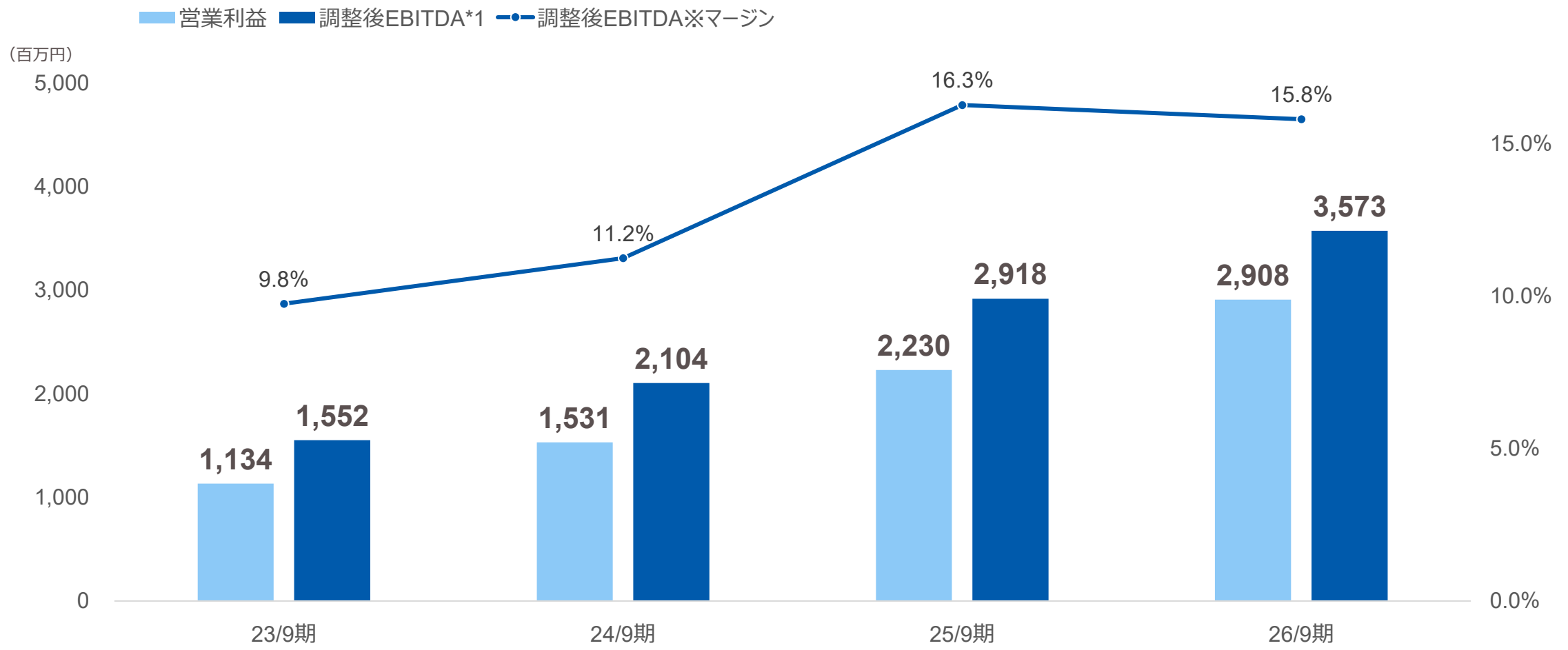
品目別構成比率（売上・売上総利益）



Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

大口案件に伴う収益構造の変化・キャッシュ創出力向上

キャッシュ創出力は着実に拡大



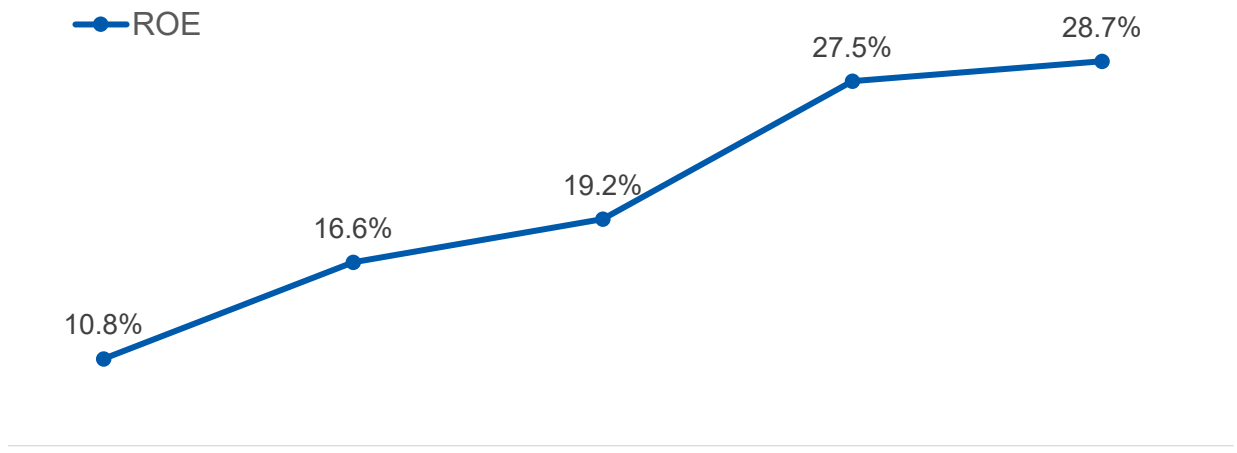
*1) 調整後EBITDA＝営業利益＋減価償却費+のれん償却費±調整項目（非継続・非通常項目）

GMO FINANCIAL GATE
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

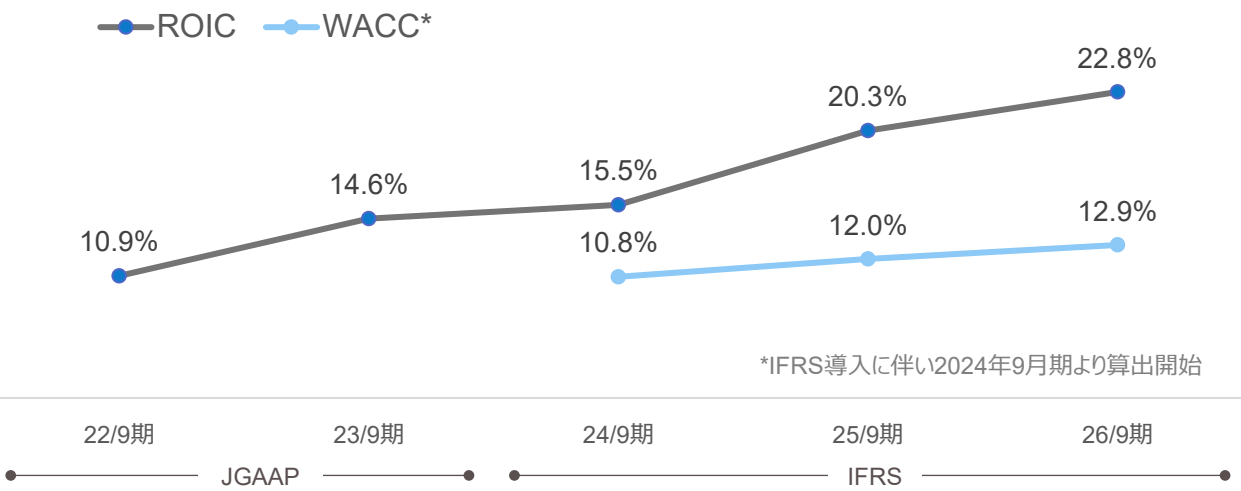
効率性指標と資本効率の向上

リカーリング型売上の拡大により利益率が着実に改善し、ROE・ROIC共に大きく向上
効率性指標の向上・資本コストの低減に注力継続

ROE



ROIC・WACC*



中長期目標	今後のアクション・方針
25%以上をベースとして向上を図る	**ROE** • リカーリング型売上の拡大による利益率向上 • 資本増加を上回る利益成長を追求 • 利益成長に資する戦略的仲間づくりの推進
20%以上	**ROIC** • 投資リターンを意識した成長投資、仲間づくり案件の実行
安定的に推移	**WACC** • 財務健全性を維持しつつ、最適資本構成を追求 • 透明性の高いIR活動を継続

GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

キャピタルアロケーション・株主還元方針

安定的・継続的な株主還元を実施しつつ、成長投資への配分を実現

資金の源泉

営業キャッシュフロー(CF)を基本に、必要に応じて外部調達を検討

調達の優先順位：営業CF → デット → エクイティ

資本配分方針

投資

基盤を強化する投資

アクティブID数拡大・ARPU向上を通じ、リカーリング型売上の最大化を目指す

利益成長に資する投資

資本コストを上回るリターンを意識した規律ある投資を実施

株主還元

配当性向 **55%以上**

配当総額の下限として**DOE10%** を設定

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

投資方針

営業利益YoY+25%成長継続に向け、規律ある事業投資・成長投資を実施

	基盤を強化する投資	利益成長に資する投資
主な投資対象	● データセンター、端末開発、セキュリティ、社内システムへの投資 ● 人財投資（組織強化、採用、業績連動報酬等） ● IoT(モビリティ)、交通系(電車/バス等)におけるタッチ決済や省人化/セルフ化対応のための開発投資	● 仲間づくり(アクティブID数増・ARPU向上に資する事業) ● SME(中小加盟店領域)におけるキャッシュレス化支援・パッケージソリューション導入 ● 決済業務DX・決済活性化におけるサービスラインナップ拡充
基本的な投資方針	● 原則として、営業利益計画の達成を前提に事業投資を実施	● 投資リターン(資本コストを上回るリターン)の確保が原則 ● 投資効果を見極めた上で、投資対象の領域を拡大

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

ありがとうございました

GMOフィナンシャルゲート株式会社

(東証プライム市場　4051)

IRサイトURL　https://gmo-fg.com/ir/

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.